

2023年  
GOOD FACTORY 賞

応募要項

一般社団法人日本能率協会  
GOOD FACTORY 賞事務局

## 目 次

1. 応募資格	4
2. 表彰対象	4
3. 賞の種類	4
4. 受賞件数	4
5. 審査機関	4
6. 審査方法	4
7. 審査の要件	5
8. 受賞後の公表	6
9. 特典	7
10. 応募の条件	7
11. 今後の予定	7
12. これまでの受賞企業	8
13. 備考	12
14. 応募先（事務局）	12
審査委員会	別添-1
正式応募申込書	別添-2

## GOOD FACTORY 賞とは

今、多くの日本製造業が中国・アジア新興国にもものづくりの拠点を展開し、日夜現地の方々の協力のもと、ものづくりに励んでいます。さらに、日本国内においては、厳しい事業環境の中、製造現場を何とか日本に残そうとして、他社、他国に負けないものづくりを追求しています。

こうした中、これまでも日本能率協会は日本製造業のものづくり力強化へ向けた様々な取り組みを実施してまいりました。

2011年から新たにアジアワイドで優良工場表彰制度を導入しております。

この表彰制度は、国内外を問わず各地域で工場の生産性向上、品質向上をはじめ様々な体質革新活動へ取り組まれている事例に着目し、そのプロセスや成功要因、現場の知恵、働く方々の意識改革、社会的貢献などの内容を幅広く取り上げ、その成果を日本製造業の範として公に明らかにするものです。

また表彰制度の運用は、日本能率協会の公益目的支出計画にのっとり運用されています。

GOOD FACTORY 賞とは、これらの総称です。

GOOD FACTORY 賞は、

- ①ものづくりプロセス革新賞
- ②ものづくり人材育成貢献賞
- ③ものづくり CSR 貢献賞
- ④ファクトリーマネジメント賞

の4つの賞で構成されており、貴社の工場・事業所において、上記のいずれか1つでも優れて自慢できる要素があれば、応募できるのが大きな特徴です。

この機会に是非、多くの工場・事業所の積極的な応募をお待ちしております。

備考：

1. 2011年～2021年の11年間に、すでに**58工場・事業場**がGOOD FACTORY 賞を受賞されております。(8～12ページ参照)
2. 「GOOD FACTORY 賞」は、特許庁の商標登録です。

## 1. 応募資格

中国・アジア地域、に進出している日系現地企業・工場ならびに日本国内工場（日系現地企業の場合、日本企業の出資比率は概ね50%以上を想定します）。

## 2. 表彰対象

応募されたテーマの活動およびその成果によって、工場・事業所が総合的に改善・強化されたり、地域・従業員との強い結びつきができるなど、グローバルな視点で日本のものづくりの優秀なモデルとして他社の範となる工場・事業所を対象といたします。

## 3. 賞の種類

### ①ものづくりプロセス革新賞

IE改善、ITの適用、品質保証、工程改善、SCM改善、JIT、調達革新、物流革新、自動化など工場・事業所の“ものづくりプロセス”が総合的に改善・強化されている内容を表彰します

### ②ものづくり人材育成貢献賞

全員参加の改善活動、技能伝承、能力開発への取り組み、従業員育成、など質の高いものづくりを実現するための“人材育成”に組織的に取り組まれている内容を表彰します

### ③ものづくりCSR貢献賞

環境対応、省エネ、福利厚生、地域社会との結びつきなど、ものづくりを側面から支える“CSR”に積極的に取り組まれている内容を表彰します

### ④ファクトリーマネジメント賞

総合的に“工場マネジメントのしくみとその運営”のレベルが高く、全体にバランスのとれた“工場マネジメント”の良さ、といった内容を表彰します

## 4. 受賞件数

1年につき、5～6件程度（審査委員会の決定による。）を表彰  
国内工場1～3件、海外工場3～5件の件数を想定

## 5. 審査機関

学識経験者と専門家（コンサルタント）で構成される「GOOD FACTORY賞 審査委員会」  
（別添-1 審査委員一覧 参照）

## 6. 審査方法

### （1）一次審査（書類審査）

フォーマットに従って提出された書類による審査を行います。

<フォーマットの主な内容>

a.工場・事業所の特徴    b.活動を進めるしくみ    c.活動を進めた背景  
d.活動の実施内容    e.活動の成果    f.今後の方向    g.まとめ

### （2）二次審査（現地審査）

一次審査を通過した工場・事業所については、現地での確認を行います。現地審査の日程については、応募工場・事業所の希望日程と審査委員の日程を調整のうえ、決定いたします。

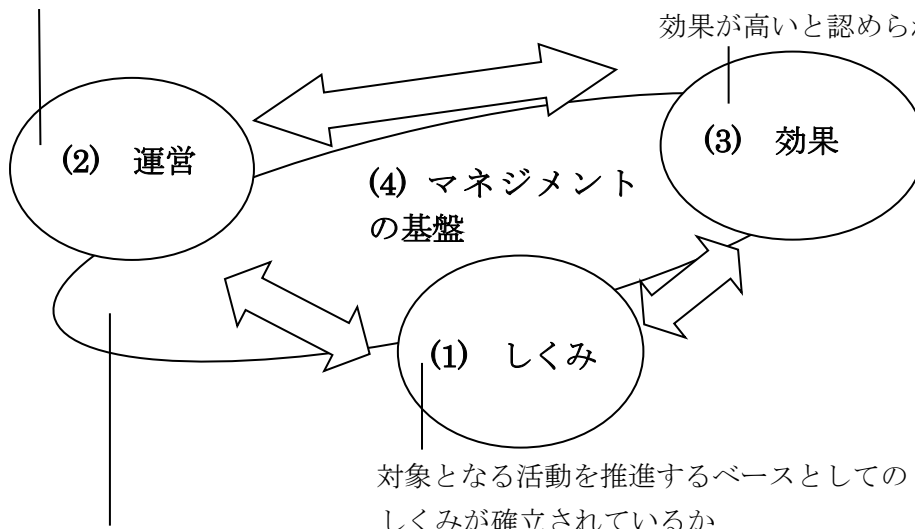
### （3）最終審査（最終判定）

二次審査の結果を踏まえて、審査委員会で最終判定します。

## 7. 審査の要件（4つの審査視点）

対象となる活動が日常の業務の中で  
いかに運営されているか

対象となる活動の目標が達成され、  
効果が高いと認められるか



対象となる活動を推進するベースとしての  
しくみが確立されているか

対象となる活動を積極的に推進する

マネジメント基盤が形成され展開されているか

(1) しくみ・・・対象となる活動を推進するベースとしてのしくみが確立されている

① 活動計画化のしくみ

- 1) 事業所のビジョンを明確化する活動計画作成のしくみがある
- 2) 的確な活動計画を策定する組織的しくみがある

② 活動実践のしくみ

- 1) 活動の内容・方法や期待値等の情報を関係者に事前に十分提供している
- 2) 職場管理者が、活動のなかで部下の活動を支援するしくみがある

③ 活動を評価するしくみ

- 1) 活動の推進過程で関係者の意見を把握し評価するしくみがある
- 2) 活動の実施目的の達成度を、実施責任者が客観的に把握している
- 3) 活動の評価を計画にフィードバックするしくみがある

(2) 運営・・・対象となる活動が日常の業務の中でいかに運営されている

事業所戦略と対象となる活動が密接に関連して推進されている

① 事業所ビジョンの明確化と対象となる活動の連動

- 1) 事業所のビジョン・事業計画が明示されている
- 2) 事業所のビジョンが事業所内に浸透し、かつ共感をもたれている

② 戦略と実践

- 1) 部署別・階層別の活動の重点が把握されている
- 2) 活動が職場の問題解決に反映されている

(3) 効果・・・対象となる活動の目標が達成され、効果が高いと認められる

① 活動の成果

- 1) 活動の成果が工場・事業所全体に波及し、工場・事業所の経営指標に反映されている
- 2) 工場・事業所の体質と価値観が新しい世代にも共有・継承されている

- ② 職場高度化の成果
  - 1) 効果測定の結果、職場の高度化への成果が出ている
  - 2) 革新活動の成果を職場で報告・公開している
  
- (4) マネジメントの基盤・・・対象となる活動を積極的に推進するマネジメントの基盤が形成され展開されている
  - ① 活動に対する事業所トップ・幹部の姿勢
    - 1) 工場・事業所トップ・幹部が、本活動を通して工場・事業所を変えていくことにより、変革を柔軟に受け入れる風土づくりができると考えている
    - 2) 工場・事業所トップ・幹部が、中・長期的視点で継続的な活動展開につながることを意識づけている、またそのしゅきみがある
    - 3) 工場・事業所トップ・幹部が常に高い目標を掲げている
  - ② 活動に対する社員の意識・行動
    - 1) 社員が意欲的に自己の活動目標を立てている
    - 2) 社員が自己の行動を全体成果に活かそうと行動している

## 8. 受賞後の公表

- (1) 表彰式および事例発表
  - ① 表彰式は、東京で行います（2023年2月を予定）。  
表彰式には、工場・事業所代表者1名および当該活動の実施責任者1名の計2名以上の出席が必要です。
  - ② 表彰式の翌日に受賞企業代表者による受賞記念講演会を開催します。講演時間は、約60分の予定です。この受賞記念講演会は、広く外部に公開します。
  
- (2) 新聞・雑誌への受賞記事掲載
  - ① 受賞工場・事業所の概要は、記者発表会で広く公表します。  
合わせて、日経産業系新聞（2023年1月中旬）の朝刊に受賞企業の記事広告を掲載します（1面の1/3）。  
なお、この記事広告の製作にあたっては、受賞各社にロゴのご提供など、版下作成のご協力をお願いいたします。
  - ② JMAの会員向け機関誌に同様の内容を掲載いたします。
  - ③ 工場・事務所の所在地域のメディアにニュースリリースを提供し、地域の人々にも広く受賞を公表いたします。
  
- (3) GOOD FACTORY 賞のホームページで受賞記事を紹介します。

[GOOD FACTORY 賞](#) [検索](#)

## 9. 特典

受賞の記念盾と表彰状（日本文・英文）を贈呈します。

### 10. 応募の条件（必ずご確認ください。）

- (1) 審査に関わる費用は、現地審査も含めてすべてJMAが負担いたします。
- (2) 受賞された場合、東京で行われる受賞式に必ずご出席いただきます。  
その際の交通費、宿泊費等につきましては、各社にてご負担いただきます。
- (3) 受賞された場合、東京での受賞記念講演会で、受賞内容についてご発表いただきます。
- (4) 受賞された場合、新聞各社およびJMA広報の取材等に応じていただくことがございます。
- (5) 受賞された場合、自社の広告、パンフレット等にGOOD FACTORY賞のロゴ等を使用されるときは、事前に必ず事務局の許可を得てください。

### 11. 今後の予定

- (1) 応募の締め切り 2022年 3月22日(火)（メール添付にて事務局必着）
  - (2) 審査書類の締め切り 6月 3日（金）（メール添付にて事務局必着）
  - (3) 第一次審査（書類審査） 7月中旬～下旬
  - (4) 第二次審査（現地審査） 8月下旬～10月下旬
    - ① 1社につき、現地審査は正味1日（原則9：30～16：30）。
    - ② 日程については、別途調整させていただきます
    - ③ 審査委員2名、事務局1名（JMA職員）
  - (5) 最終判定 11月中旬
  - (6) 事例講演資料の準備 11月中旬～翌年 1月
  - (7) 新聞記事広告の準備 11月中旬～12月下旬
  - (8) 表彰式・懇親会・事例講演会のご案内 1月末
  - (9) 新聞記事広告 2023年 1月中旬 日本経済産業新聞（予定）
  - (10) 表彰式 2月中旬 17：30～18：45（予定）※
  - (11) 懇親会 2月中旬 18：45～20：00（〃）※
  - (12) 受賞記念講演会 2月中旬 10：00～17：00（〃）※
- ※いずれも 東京都内会場（〃）

12. これまでの受賞企業

注) 2020年については新型コロナウイルス感染症対策として、2021年に審査を1年延期しております。

2022年(第10回)

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
オリンパス 青森オリンパス (医療用内視鏡関連製品(医療用処置具製品)の開発・製造)	ファクトリーマネジメント賞	日本 (青森県)
花王 花王 栃木工場 (紙おむつ、生理用品、掃除用シートなどの製造)	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (栃木県)
JUKI JUKI 大田原工場 (工業用ミシン製造、JUKIグループマザー工場としての拠点)	ものづくりプロセス革新賞	日本 (栃木県)
東レ 東レ 岐阜工場 (繊維、機能化成品、炭素繊維複合材料、環境・エンジニアリング、ライフサイエンス等の製造・加工及び販売)	ファクトリーマネジメント賞	日本 (岐阜県)

2019年(第9回)

受賞企業(社名 五十音順)	受賞部門	所在地
オムロン 欧姆龙(上海)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (上海)
オリンパス 白河オリンパス	ファクトリーマネジメント賞	日本 (福島県)
花王 上海花王 上海工場	ファクトリーマネジメント賞	中国 (上海)
コニカミノルタ 柯尼卡美能达商用科技(东莞)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (広東省東莞市)
ダイキン工業 ※4社共同応募 堺・滋賀・淀川・鹿島製作所	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (大阪府)
デンソー PT. DENSO INDONESIA	ファクトリーマネジメント賞	インドネシア (西ジャワ州 ブカシ県)
東レ 東麗酒伊織染(南通)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (江蘇省南通市)



2018年（第8回）

受賞企業（社名 五十音順）	受賞部門	所在地
NEC NECプラットフォームズ 掛川事業所	ものづくりプロセス革新賞	日本 (静岡県)
オークマ 本社・DS2 部品工場	ものづくりプロセス革新賞	日本 (愛知県)
コマツ 大阪工場・生産技術開発センタ	ものづくりプロセス革新賞	日本 (大阪府)
東レ Penfibre Sdn.Berhad.(PFR)Film Factory	ファクトリーマネジメント賞	マレーシア (ペナン)
ブラザー工業 兄弟機械（西安）有限公司	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (西安)

2017年（第7回）

受賞企業（社名 五十音順）	受賞部門	所在地
NEC NECプラットフォームズ 甲府事業所	ものづくりプロセス革新賞	日本 (山梨県)
花王 花王 和歌山工場	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (和歌山県)
ダイキン工業 大金機電設備(蘇州)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (蘇州)
トヨタ紡織 トヨタ紡織ハノイ	ものづくりプロセス革新賞	ベトナム (ハノイ)
パナソニック エコソリューションズ社 ライティング事業部 新潟工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (新潟県)
富士ゼロックス 富士ゼロックススマニファクチュアリング 鈴鹿事業所	ファクトリーマネジメント賞	日本 (三重県)

2016年（第6回）

受賞企業名（社名五十音順）	受賞部門	所在地
東レ Thai Toray Synthetics Co., Ltd. Ayutthaya Factory	ものづくりプロセス革新賞	タイ (アユタヤ)
NEC NEC ネットワークプロダクツ	ファクトリーマネジメント賞	日本 (福島県)
オリンパス 長野オリンパス	ファクトリーマネジメント賞	日本 (長野県)
トヨタ自動車 PT.Toyota Motor Mfg. Indonesia Karawang Plant (TMMIN)	ファクトリーマネジメント賞	インドネシア (カラワン)
パナソニック 無錫松下冷機	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (無錫)
パナソニック パナソニックエコシステムズ 春日井工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (愛知県)

2015年（第5回）

受賞企業名（社名五十音順）	受賞部門	所在地
コマツ コマツ 粟津工場	ものづくり CSR 貢献賞	日本 (石川県)
ダイキン工業 DAIKIN INDUSTRIES (THAILAND)	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)
デンソー DENSO (THAILAND)	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)
東芝 東芝キャリア 富士工場	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (静岡県)
東レ Penfabric Sdn. Berhad (PAB)	ファクトリーマネジメント賞	マレーシア (ペナン)
トヨタ紡織 広州桜泰汽車飾件	ものづくりプロセス革新賞	中国 (広州)
日産自動車 SNN TOOLS & DIES	ファクトリーマネジメント賞	タイ (サムプラーコン)
日立オートモティブシステムズ 日立汽車系統（蘇州）	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (広州)

2014年（第4回）

受賞企業（社名 五十音順）	受賞部門	所在地
ダイキン工業 大金空調(上海)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (上海)
東レ 東麗塑料(深圳)	ファクトリーマネジメント賞	中国 (深圳)
NEC/NECプラットフォームズ NEC Platforms Thai	ものづくり人材育成貢献賞	タイ (パツムタニ)
日立金属 Hitachi Metals (Thailand)	ファクトリーマネジメント賞	タイ (アユタヤ)
ミスミグループ本社 駿河生産プラットフォーム	ものづくりプロセス革新賞	日本 (静岡県)

2013年(第3回)

受賞企業（社名 五十音順）	受賞部門	所在地
味の素 タイ味の素社 カンペンペット事業所	ものづくり CSR 貢献賞	タイ (カンペンペット)
小島プレス工業 本社・下市場工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (愛知県)
東芝 セミコンダクター&ストレージ社 四日市工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (三重県)
東芝 東芝情報機器杭州社 (TIH)	ものづくりプロセス革新賞	中国 (杭州)
トヨタ自動車 Toyota Kirloskar Motor Private (TKM)	ものづくり人材育成貢献賞	インド (パンガロール)
三菱電機 Siam Compressor Industry (SCI)	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)

2012年（第2回）

受賞企業名（社名五十音順）	受賞部門	所在地
東レ P.T. Easterntex	ファクトリーマネジメント賞	インドネシア (スラバヤ)
東レ 東麗合成繊維(南通)	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (南通)
トヨタ紡織 Toyota Boshoku Gateway(Thailand)	ものづくりプロセス革新賞	タイ (ゲートウェイ)
日産自動車 東風日産乗用車 広州風神汽車	ファクトリーマネジメント賞	中国 (広州)
パナソニック 広州松下空調器	ものづくりプロセス革新賞	中国 (広州)
富士通（※2社の共同応募） 島根富士通 富士通アイソテック	ものづくり CSR 貢献賞	日本(島根県) 日本(福島県)

2011年（第1回）

受賞企業名（社名五十音順）	受賞部門	所在地
オリンパス 会津オリンパス	ものづくりプロセス革新賞	日本 (福島県)
東芝 東芝情報機器フィリピン社(Toshiba Information Equipment (Phils.) (TIP))	ファクトリーマネジメント賞	フィリピン (ラグナ)
トヨタ自動車(※2社の共同応募) Toyota Motor Asia Pacific Eng& Mfg. (TMAP-EM) Toyota Motor Thailand (TMT)	ものづくり人材育成貢献賞	タイ (サムットラック)
富士ゼロックス Fuji Xerox of Shenzhen	ものづくり CSR 貢献賞	中国 (深圳)
ヤマハ P.T. Yamaha Music Mfg. Asia (YMMA)	ものづくり人材育成貢献賞	インドネシア (ベカシ)

13. 備考

- (1) 応募された工場・事業所については一切公表しません。(受賞された場合のみ公表)
- (2) 受賞工場・事業所の受賞理由を公表します。
- (3) 受賞の有無に関わらず、応募工場・事業所には、評価の視点とこれから取り組むべき課題を「審査所見」にまとめ提供します。
- (4) 応募申込書、審査書類などの締切日は厳守願います。合否判定の「参考」となります。

14. 応募先（事務局）

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター  
 GOOD FACTORY賞 事務局 松本 亜砂子  
 〒105-8522 東京都港区 芝公園 3-1-22  
 TEL : 03-3434-1410 FAX : 03-3434-3593  
 E-mail goodfactory-award@jma.or.jp

一般社団法人日本能率協会「2022年度（第10回）GOOD FACTORY賞」  
審査委員会

(敬称略)

委員長	東京理科大学 経営学部 教授 東京工業大学 名誉教授	伊藤 謙治
委員	電気通信大学 名誉教授	新 誠一
	日本大学 理工学部 シニアリサーチフェロー	柿崎 隆夫
	慶応義塾大学大学院 経営管理研究科 委員長 ビジネス・スクール校長	坂爪 裕
	電気通信大学 i-パワードエネルギー・システム研究センター	教授 横川 慎二
	株式会社日本能率協会コンサルティング 取締役	石田 秀夫
	株式会社日本能率協会コンサルティング シニアコンサルタント	石山 真実
	Transformation Consulting 合同会社 CEO Management Consultant	松田 将寿